

令和4年11月20日

宮西「防災教室」開催にあたり

宮西連区地域づくり協議会
会長 岩田 茂樹

近いうちに起きると想定される東南海地震や、最近頻繁に起きている豪雨災害等は我々が避けて通れない非常事態です。皆さんは非常事態の時、どう自分を、どう家族を守ることができますか？自治体による「公助」では守れないのが現状だと思えます。「自助」「共助」を確立してこそ地域の皆さんを守ることができます。

皆さんに簡単な質問をします。

1. 宮西連区の避難場所を把握していますか？
2. 避難所の収容人数はご存知ですか？
3. 避難所は住民が運営して行くことをご存知ですか？
4. 一宮市における東南海地震の想定最大震度は6弱だと知っていましたか？
5. 万が一の場合、どう動けばいいのか答えられますか？

以上の5つの質問に即座に答えられない方が多くいると思えます。

万が一に備えたいとの思いが、今回の防災教室開催の運びとなりました。

そこで宮西連区地域づくり協議会では、本部として「宮西防災協議会」を設け、町会長会の皆さんと各種団体の皆さんのご協力をいただきながら、エリア別の「自主防災会」を設立したいと思えます。

一度に防災会を発足させるのは困難ですので、一宮ボランティアネットワーク会長の伊藤善之様、メンバーの皆様のアドバイスを頂き、タイムスケジュールに沿って進めてまいります。

「自主防災会」の確立に向け、皆さんのご理解、ご協力を心からお願い申し上げます。

本日はまず「公助」の部分を一宮市危機管理課、福祉総務課よりレクチャーいただき、最後に宮西連区の今後の取組をお話ししたいと思えます。

宜しくお願い申し上げます。